

2023年度 事業計画書

(2023年4月1日～2024年3月31日)

我が国の経済は、世界的な資源価格の高騰、為替相場の急激な変動等の不透明な状態が続く中ではあるものの、新型コロナウイルス感染症におけるワクチン接種の進展、行動規制の緩和等、With コロナを前提とした経済活動の正常化が進んでおります。

一方、スポーツを取り巻く環境では、2022年11月にはコロナ禍以降初の世界的イベントとなったサッカーワールドカップが有観客大会として開催され、無事に成功を収めたとともに、国内市民レベルでもマラソン大会等のスポーツイベントの再開に加えて、外出規制の緩和が進んだことから、人との直接的交流を前提としたスポーツ活動回帰の動きが加速化しております。このように国民のスポーツライフが大きく変化した状況で、スポーツの価値が改めて見直される時期がきています。

当財団においては、全ての人々がスポーツを楽しめる共生社会の実現に寄与する事を目的に設立し第6期を迎えた昨年9月に、2023年度からの中期3ヶ年計画を策定して、財団事業の更なる拡大と、事業運営体制の強化を図って参りたいと考えております。

つきましては、第7期目を迎える2023年度の活動として、以下の4項目を柱に推進していく所存でございます。

1. 公益性の高い助成事業拡大及びセミナー事業の実施
2. 富山県における共生スポーツ社会実現の為に勉強会立ち上げ
3. 認知度アップに向けたプロモーション活動の継続
4. 独立性と継続性に優れた財団運営

また、助成主計画は以下のとおりです。

(1) 助成金事業

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 障がい者スポーツに関する支援事業 | 40,000千円を計上いたします。 |
| 2. 次世代を担う人材の育成に関する支援事業 | 35,000千円を計上いたします。 |
| 3. 富山県のスポーツ振興に関する支援事業 | 35,000千円を計上いたします。 |

(2) 講演事業

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. スポーツの学び・体験に関する支援事業 | 10,209千円を計上いたします。 |
|-----------------------|-------------------|

なお、2023年度より障がい者スポーツ支援事業（障がい者スポーツウェアの研究開発助成）は、募集を休止致します。

以上